

## ～あなたの願いは、祈りになっていますか？～

私たちは神様に感謝を捧げる時は、祈りに答えられたことに対して感謝を捧げるものです。心の様々な思いを祈りに変えていますか？ある男の子が明日の遠足の為に晴れるように祈りました。その日お母さんは長靴を買ってきました。太陽さんは男の子が晴れるように、願っているから晴れさせて欲しいと神様に願いました。長靴さんは雨になるように願いました。あなたが神様だったらどうしますか？答えはこうです。神様は夜に大雨を降らせて、朝に晴れさせました。始め男の子は、靴で出かけましたが、すぐに家に帰り、長靴を履いて出かけました。私たちは自分の都合のために何かを犠牲にしています。人のせいや状況のせいにして、願いを祈りに変えることが出来ないことがあります。また祈りにせず願っていることをつぶやいてしまいます。昔イスラエルの人々はモーセに率いられエジプトを出ることが出来ました。その感謝を忘れないようにと仮庵の祭というお祭りがあります。神様がしてくださったことを何一つ忘れるな！という御言葉があります。神様のしてくださったことを忘れないためにもこのお祭りはあります。そしてこのお祭りは感謝が大前提にあります。感謝からだと祈りに変えることが出来ると思いますが、文句は祈りに変えることは難しいと思います。私たちはマイナスや不足を文句に変えてしまいます。そして人のせいや物、状況のせいにしてしまいます。不足に目を向けると祈りに変えず文句に変えてしまいます。また不足に目を向けてしまい、不平不満を口にしてしまうことがあると思います。原因として逃げてしまうから人のせいにしたり、環境のせいにしたりすることになります。私たちは自分が通ってきた辛い道をイエス様であって信仰によって祈り良いものに変えることが出来ます。苦しみが来たとき幸せと思えるのは、一人ではなく助け手を与えられているからです。見下したり蔑んだりするのではなく、神様が本来求めているのは神様と人々の間に立ってとりなすことです。イエス様は自分が愛する人が守られるように祈られました。ヨブは心配して子供たちの為に神様にいけにえを捧げていました。ヨブは多くの苦しみ似合いましたが、悪く言う友達を赦しました。そして神様の前に正しく歩み、友達を赦したことによって失った物の二倍を受けました。私たちは憐れみ深い神様を知る必要があります。私たちは頭に来て感情的になると、もう知らない、もうやらないと言ってしまいます。ふてくされてしまうと投げ出してしまいます。感情的になるとひどいことを言ったり、したりしてしまいます。またはもうダメだと思い落ち込んでしまい時に、孤独な自分がかわいそうと思ってしまいます。苦しい思いをしていますか？その人は祈りなさい。喜んでいる人は賛美しなさいと聖書に書かれています。病のときは長老を招いて祈ってもらおうと言われていました。私たちは互いのために祈る必要があります。愛の反対は、無関心です。イエス様は、ゲッセマネで人々の為に、とりなして下さいました。問題にある時、自分だけどうして？？と言っていないですか？『願いがなるために！！』①**願いをつぶやかない！**②**感謝を持って祈る！**『ピリピ4:6-7 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。』感謝を持って捧げる祈りをすればどのような事からも守られます。羊は悪い方に仲間を連れていってしまうことがあるそうです。同じように私たちも悪い方向に友達も引っ張ってしまうことがあるのではないのでしょうか。羊はちょっと角が引っ掛かっただけで、暴れてしまい死んでしまうこともあります。悪い状況から抜け出そうと思い、暴れるとどんどん悪い方に向かってしまいます。悪い状況で出来ないことを感謝できますか？出来ませんね！アブラハム、イサク、ヤコブの神と聖書の中で書かれています。神様はアブラハムにしてくださった良いことを今もしてください。私たちは信じて祈る必要があります。守られる事を信じましょう。必ず神様は良い方向に導いてくださいます。神様が引き上げてくださる為に、私たちは手を上げて祈ります。「どうせ」という不平やつぶやきにならないようにしましょう。③**祈り合う、全ての祈りの家！**『エペソ6:18すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。』孤独に思うのは自己正当化するためです。私たちは悪い状況があると、すねてしまうことがあります。その悪い状況を一人で解決しようとせず、祈り合う必要があります。教会は全ての民の祈りの家です。とりなしの祈りがなくなったら教会の意味がなくなります。あなたの問題を取って運ぶのがとりなしです。問題悩み葛藤を神様のもとに持ってきて、共に祈り合ひましょう。そのことによって人々は救われます。目を覚まして忍耐強く祈りましょう。私たちは忍耐が必要です。収穫の為に忍耐できますか？問題に対して祈り合っていますか？隠すのは教会ですることではありません。ちょっと指が痛かったらとても気になりますね。同じように教会も一人の痛みはすべての人の痛みになります。だから祈り合う必要があります。御霊によって祈りましょう。御霊は祈るべきことを示して下さい。また心が騒いでいるとき人の言葉を受け止めることができませんよね。同じように神様の言葉を受け取るために、私たちは冷静になり静まる必要があります。その時、神様は語ってください。そして私たちは祈りの答えを見ることが出来ます。私たちは必ず祈った以上の答えを見ることが出来ます。神の国とその義を第一に求めましょう。隣の人々の必要を聞き祈り合ひていきましょう。その為に隣の人が話してもらえるように、聞き方に注意していく必要があります。とりなす者として備えられ、そして神様の計画がなされるように祈り合ひていきましょう。(要約者:渡辺将宏)